

# 施策評価シート (評価対象年度：令和元年度)

## 1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	1 防犯活動の充実	②施策番号	7613
③まちづくりの方向〔政策(章)〕	4 おだやかに暮らせる、安全と安心のまち		
④基本施策〔施策大(節)〕	2 暮らしの不安や生活をおびやかす危険のないまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	1 防犯対策の充実		
⑥担当部名	⑦担当課名		
教育部	生涯学習課		

## 2. 施策の現状把握

### [1] 施策の対象・意図

①施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	校区の保護者・個人、事業者
②意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	「こども110番」の旗を掲示することにより、犯罪の抑制及び、家庭、地域が連携し、子供を犯罪から守る。
③環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	全国的にも子どもたちが登下校時に犯罪に巻き込まれる事例が起きているため、未然に防ぐ施策が求められている状況である。

### [2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① こども110番の旗新規配付率 計算式:	%	旗の新規配布率をつかむことで、市民への広がりを確認でき、必要性を推測することができる。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H29実績	H30実績	R1実績	R2見込	R3目標	備考
① こども110番の旗新規配付率	%	目標値	8	8	8	9	9
		実績値	10	10			
		達成率	125.0%	125.0%	0.0%		
②		目標値					
		実績値					
		達成率					
③		目標値					
		実績値					
		達成率					

### [3] 施策を構成する事務事業

	事務事業名	成果指標				総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化	
		指標名	単位	H30実績	R1実績	R2見込	H30実績	R1実績	R2見込	総合評価		今後の方向性
1	こども110番の家事業	新規配付率	%	6	8	7	486	463	463	A	ア	○
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
計	1						486	463	463			

### 3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	安全・安心のまちを構築する上で、子どもたちの安全を見守る本施策は重要である。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	少しずつだか、配布率が上がっている。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	適切であると考えている。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	生涯学習課で所管する業務の範囲内において適正である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	今後も重点的に進めるべき施策であると考えている。

### 4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	子どもたちが犯罪に巻き込まれる事件が後を絶たない現状の中で、今後も一層の啓発活動が重要である。	

### 5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	事業所等への掲出依頼。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	経年劣化した旗の定期的な、取り換え。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	旗が必要であれば、市民が誰でも取りに来れて協力し合えるシステムの構築。

### 6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	旗の配布を通じた校区の保護者等に対する協力要請により、子どもの登下校時における見守りの充実に向けた取組が適切に行われている。 引き続き啓発による見守り活動の充実への取組を進められたい。	